



環境放射能除染学会 第13回講演会

主 旨：

中間貯蔵施設においては、除去土壌の保管施設も稼働し始め、土壌の再生利用の実証事業への取組み、さらには焼却灰の高度減容化施設の整備も計画され、中間貯蔵事業は今後加速化していくことが期待されます。将来を見通して県外最終処分の在り方も議論を始める時期に来ているのではないのでしょうか。

本講演会では、中間貯蔵事業の現状と県外最終処分に向けての課題について、環境省や有識者から話題提供いただき、今後の在り方について議論したいと思います。奮ってご参加ください。

- 主 催：一般社団法人環境放射能除染学会
- 日 時：2018年1月26日（金）10時00分～16時30分
- 場 所：東京国際フォーラム ガラス棟6階 会議室 G610（有楽町駅徒歩1分）
- 定 員：100名（会員および先着申込優先）
- 参 加 費：会員3,000円 非会員15,000円
- お 申 込：学会ホームページよりお申込ください。
- 問合せ先：一般社団法人環境放射能除染学会 東京事務所までメールにてお問い合わせ下さい。

お問い合わせアドレス：info@kh.josen.org

テーマ：除去土壌等の減容化・再生利用と県外最終処分に向けた課題

講演1. 10:00～10:35 環境省における最近の取組と将来課題	環境省中間貯蔵担当参事官室 山田 浩司
講演2. 10:35～11:20 除去土壌の再生利用とその課題	京都大学大学院地球環境学堂 勝見 武
休憩 11:20～11:40	
環境放射能除染学会総会 11:40～12:20	
ランチタイム・理事会 12:20～13:00	
講演3. 13:00～13:45 廃棄物の熱処理減容化	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 倉持 秀敏
講演4. 13:45～14:30 県外最終処分に向けた減容化濃縮物の廃棄体化	国立環境研究所 福島支部 山田 一夫
講演5. 14:30～15:15 県外最終処分に向けて考慮すべき事項	日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター 岡田 尚
休憩 15:15～15:30	
パネルディスカッション 15:30～16:30 講演1～5の論点整理を含めて	座長：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 大迫 政浩